



# 機械受注統計調査報告

Machinery Orders

令和3年5月実績

May 2021



令和3年7月

July 2021

内閣府経済社会総合研究所

景気統計部

Department of Business Statistics  
Economic and Social Research Institute  
Cabinet Office, Government of Japan

## 目 次

2021（令和3）年5月の機械受注動向	
（1）需要者別受注動向（季節調整値）	1
（2）民需の業種別受注動向（季節調整値）	1
（3）販売額、受注残高、手持月数（季節調整値）	1
〈参考1〉 需要者別の機械受注動向（原数値）	6
〈参考2〉 機種別の受注額、販売額、受注残高（原数値）	6
統 計 表	8

### （ 調 査 の 概 要 ）

本調査は、機械等製造業者の受注した設備用機械類について、毎月の受注実績を調査したものであり、調査対象は主要機械等製造業者、調査時点は毎月末日である。

1987（昭和62）年4月実績より、調査対象社数を202社（うち機械製造業者178社）から308社（同280社）に増加させるとともに、調査内容を拡充した280社ベースの調査に移行した。

2011（平成23）年4月調査より、日本標準産業分類の改定（2007（平成19）年11月）に準拠して、需要者（業種）分類を変更した。表章については、2016（平成28）年1月調査より、従来の移行期表章分類から変更後の調査票分類へと移行した（巻末の対照表を参照）。

### （ 使 用 上 の 注 意 ）

- 1989（平成元）年4月調査の実績額から、すべて消費税を除くベースで調査している。
- 本調査は、毎年1月調査の時点で季節調整系列の改訂を行っている。季節調整方法は、X-12-ARIMAの中のX-11を使用している。ただし、主要系列（受注総額、民需、民需（船舶・電力を除く）、製造業、非製造業、非製造業（船舶・電力を除く）、官公需、外需、代理店）については、RegARIMAを利用した季節調整を検討し、適用している（詳細は巻末を参照）。
- 統計表の増加率は比較される二つの計数の増（減）分を前期（前年同期）の計数で機械的に除したものである。
- 「携帯電話」については2005（平成17）年度より調査を行ってきたため、2004（平成16）年度以前については、「携帯電話」を除いた系列を計算することはできない。このため、2011年4月調査以降、本調査は2005年度開始となる。
- 業種分類及び機種分類の定義は、本調査HPを参照。  
[https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/menu\\_juchu.html](https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/menu_juchu.html)
- 2017（平成29）年6月調査より、機種分類の表章を一部変更した（「電子計算機」と「半導体製造装置」を統合し、「電子計算機等」とした）。

## 2021（令和3）年5月の機械受注動向

### (1) 需要者別受注動向（季節調整値） [第1表及び第1・2図参照]

最近の機械受注の動向を前月比で見ると、受注総額は、4月18.2%増の後、5月は9.8%増となった。

需要者別にみると、民需は、4月3.7%増の後、5月は8.5%増となった。このうち、民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、4月0.6%増の後、5月は7.8%増となった。内訳をみると製造業が2.8%増、非製造業（船舶・電力を除く）が10.0%増であった。

一方、官公需は、4月2.7%減の後、5月は防衛省で減少したものの、国家公務、地方公務等で増加したことから、3.1%増となった。

また、外需は、4月46.2%増の後、5月は船舶、原動機等で減少したものの、電子・通信機械、産業機械等で増加したことから、11.4%増となった。

なお、最終需要者が不明である代理店経由の受注は、4月8.4%増の後、5月は道路車両、原動機で減少したものの、産業機械、工作機械等で増加したことから、2.8%増となった。

### (2) 民需の業種別受注動向（季節調整値） [第2表参照]

製造業からの受注を前月比で見ると、合計では、4月10.9%増の後、5月は2.8%増となった。

5月の受注を業種別にみると、前月比で増加したのは17業種中、繊維工業（57.4%増）、造船業（53.1%増）等の9業種で、非鉄金属（62.5%減）、窯業・土石製品（24.7%減）等の8業種は減少となった。

一方、非製造業からの受注を前月比で見ると、合計では、4月1.1%減の後、5月は3.7%増となった。

5月の受注を業種別にみると、前月比で増加したのは12業種中、通信業（36.7%増）、不動産業（9.9%増）等の5業種で、電力業（30.0%減）、鉱業・採石業・砂利採取業（27.1%減）等の7業種は減少となった。

### (3) 販売額、受注残高、手持月数（季節調整値） [第3図参照]

5月の販売額は2兆4,858億円（前月比4.7%減）で、前3か月平均販売額は2兆4,561億円（同4.4%増）となり、受注残高は28兆6,498億円（同0.2%減）となった。この結果、手持月数は11.7か月となり、前月差で0.5か月減少した。

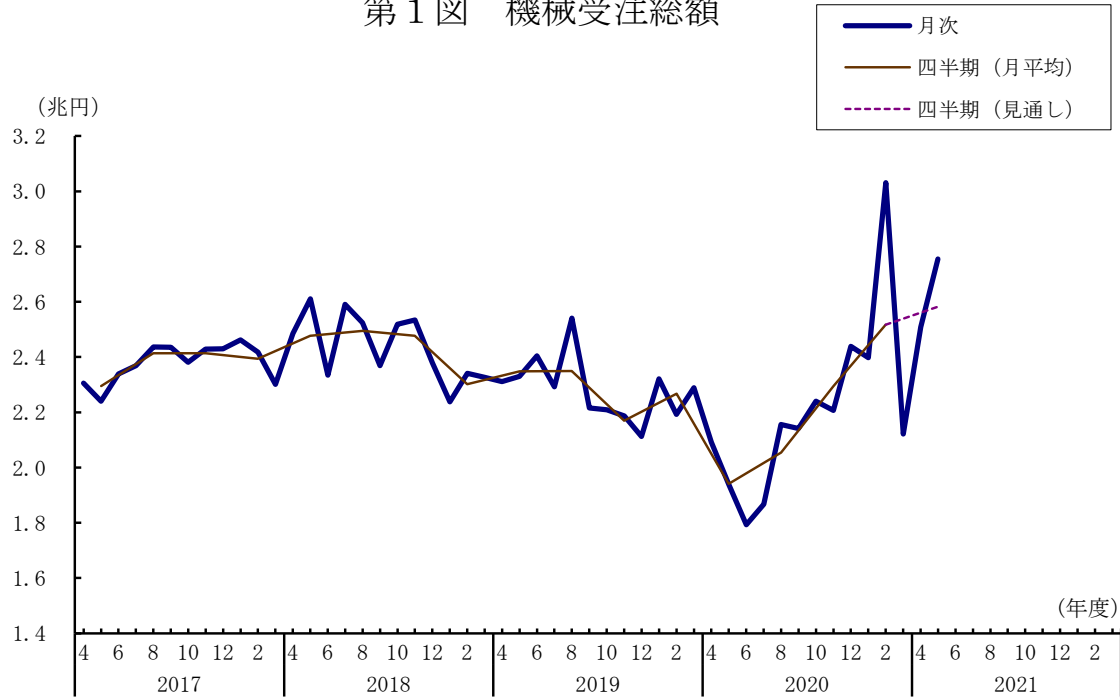
第1表 主要需要者別機械受注額

(単位：億円，%)

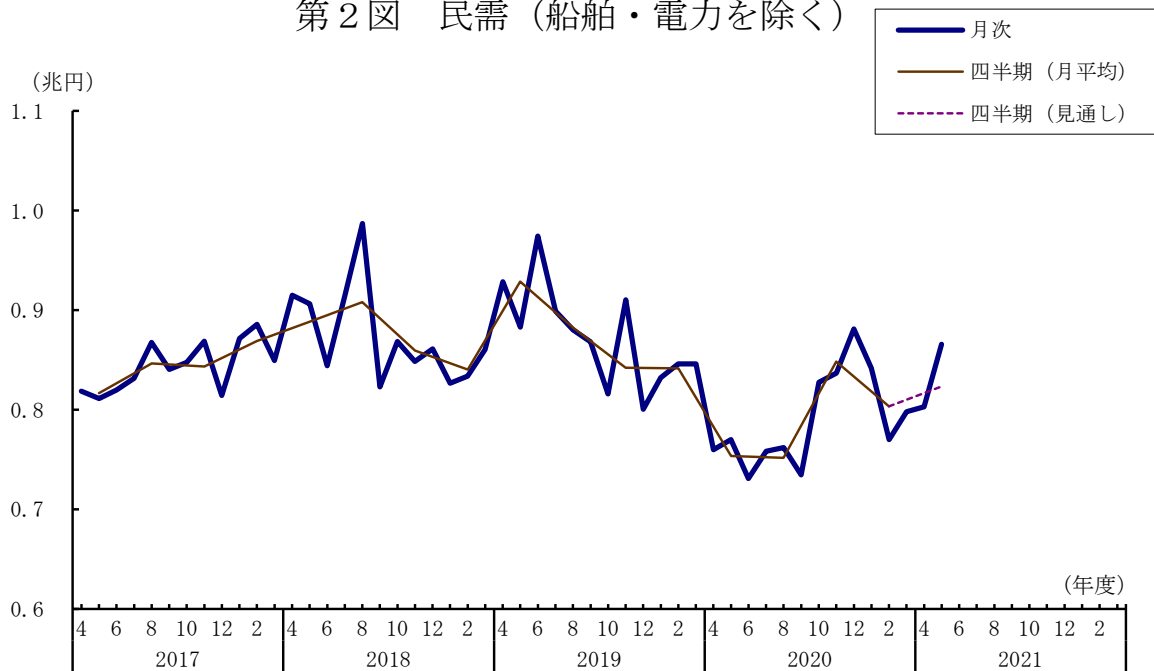
期・月 需要者	2020年 (令和2年)			2021年 (令和3年)	2021年 (令和3年)			
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	2月	3月	4月	5月
受注総額	58,223 ( -14.4) [ -17.7]	61,641 ( 5.9) [ -11.6]	68,851 ( 11.7) [ 6.4]	75,501 ( 9.7) [ 7.9]	30,312 ( 26.4) [ 40.7]	21,215 ( -30.0) [ -4.6]	25,080 ( 18.2) [ 19.5]	27,547 ( 9.8) [ 41.9]
民需	27,217 ( -9.3) [ -15.5]	27,748 ( 2.0) [ -14.9]	29,446 ( 6.1) [ -4.5]	27,258 ( -7.4) [ -8.4]	8,615 ( -12.0) [ -11.7]	8,852 ( 2.7) [ -8.3]	9,183 ( 3.7) [ -5.8]	9,965 ( 8.5) [ 10.3]
〃 (船舶・電力を除く)	22,606 ( -10.4) [ -19.1]	22,546 ( -0.3) [ -14.1]	25,451 ( 12.9) [ 1.2]	24,095 ( -5.3) [ -2.5]	7,698 ( -8.5) [ -7.1]	7,981 ( 3.7) [ -2.0]	8,029 ( 0.6) [ 6.5]	8,657 ( 7.8) [ 12.2]
製造業	9,315 ( -12.9) [ -19.9]	9,605 ( 3.1) [ -15.0]	10,703 ( 11.4) [ 0.8]	10,472 ( -2.2) [ 0.8]	3,426 ( -5.5) [ -2.8]	3,422 ( -0.1) [ 2.9]	3,796 ( 10.9) [ 14.2]	3,901 ( 2.8) [ 37.9]
非製造業 (船舶・電力を除く)	13,257 ( -8.5) [ -18.4]	12,963 ( -2.2) [ -13.4]	14,972 ( 15.5) [ 1.4]	13,601 ( -9.2) [ -4.8]	4,227 ( -10.9) [ -10.1]	4,630 ( 9.5) [ -4.9]	4,119 ( -11.0) [ 0.1]	4,532 ( 10.0) [ -4.7]
官公需	9,130 ( 1.7) [ 8.9]	8,156 ( -10.7) [ 6.6]	8,306 ( 1.8) [ 14.6]	7,410 ( -10.8) [ -10.5]	2,571 ( 17.0) [ 3.5]	2,641 ( 2.7) [ -4.0]	2,571 ( -2.7) [ -4.2]	2,652 ( 3.1) [ -23.2]
外需	18,913 ( -26.0) [ -28.4]	23,304 ( 23.2) [ -12.3]	27,889 ( 19.7) [ 19.6]	36,637 ( 31.4) [ 35.7]	18,061 ( 76.2) [ 115.9]	8,325 ( -53.9) [ -0.1]	12,175 ( 46.2) [ 67.8]	13,563 ( 11.4) [ 125.7]
代理店	3,025 ( -13.0) [ -19.6]	3,084 ( 2.0) [ -15.4]	3,186 ( 3.3) [ -7.1]	3,261 ( 2.4) [ -6.3]	1,048 ( -7.5) [ -8.3]	1,081 ( 3.2) [ -2.4]	1,172 ( 8.4) [ 13.3]	1,205 ( 2.8) [ 25.3]

- (備考) 1. 季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
2. 四半期は合計額、( )内は対前期(月)増減率、[ ]内は原系列による対前年同期(月)増減率。

第1図 機械受注総額



第2図 民需（船舶・電力を除く）



(備考)

1. 四半期（月平均）は季節調整済みの月平均値を期央月の位置に表示(例えば7～9月の月平均値は8月の位置に表示)。
2. 「2021年4～6月（見通し）」の計数は、「見通し調査（2021年3月末時点）」の季節調整値を3で割った数値。

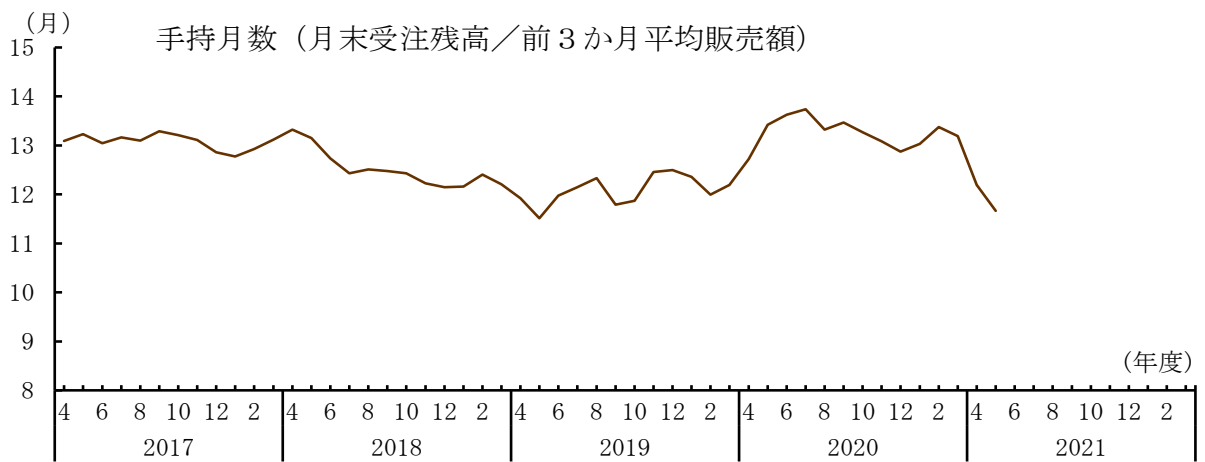
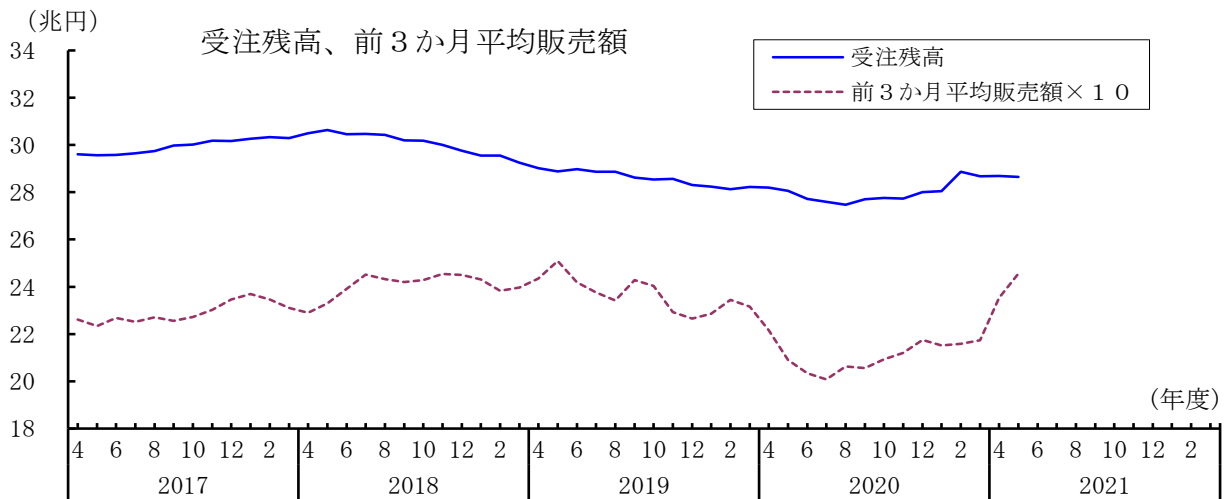
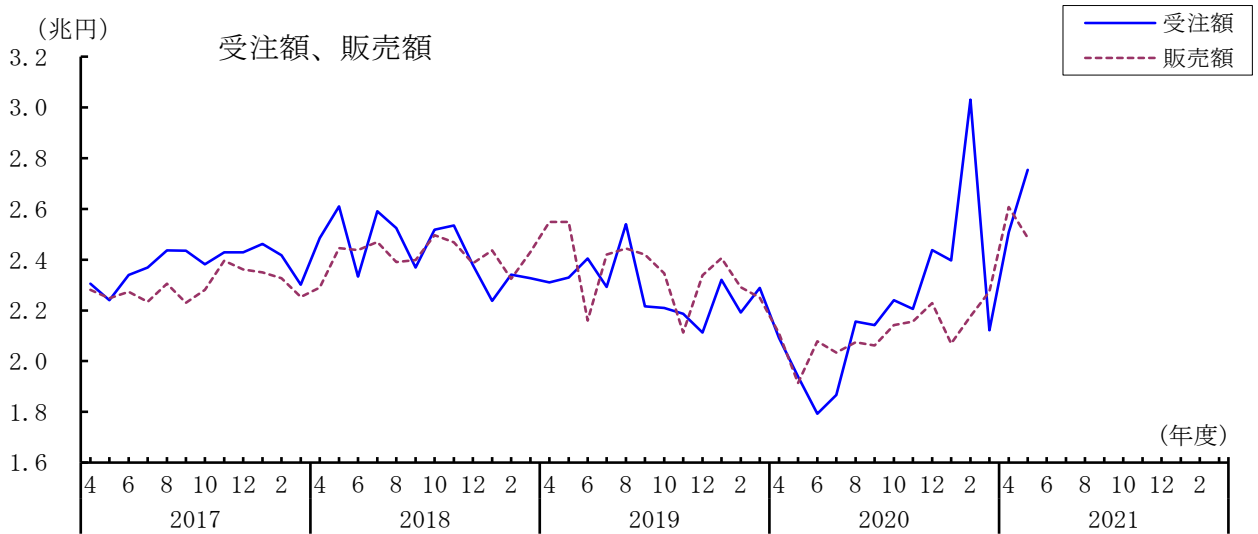
第2表 民需の業種別機械受注の伸び

(単位：%)

需要者	期・月	2020年			2021年	2021年			
		(令和2年) 4～6月	7～9月	10～12月	(令和3年) 1～3月	(令和3年) 2月	3月	4月	5月
I 製造業計		-12.9	3.1	11.4	-2.2	-5.5	-0.1	10.9	2.8
1 食品製造業		-9.0	-1.2	-5.9	13.2	-47.0	70.1	-19.4	9.0
2 繊維工業		-13.6	31.9	29.2	-13.1	-51.3	54.7	-41.6	57.4
3 パルプ・紙・紙加工品		-8.1	-19.0	-7.2	-8.2	-34.9	12.0	2.4	24.9
4 化学工業		5.5	-1.5	36.2	-26.9	8.0	31.0	-10.7	-5.7
5 石油製品・石炭製品		-17.9	53.1	-14.5	-24.6	54.0	-16.0	105.7	-21.8
6 窯業・土石製品		-27.6	31.6	3.8	-7.9	6.9	15.4	9.8	-24.7
7 鉄鋼業		-1.1	-12.8	-4.7	20.0	-1.8	-10.8	5.0	-11.6
8 非鉄金属		-16.2	-16.6	54.4	74.1	-39.7	-52.9	71.0	-62.5
9 金属製品		-27.2	26.5	10.7	-2.9	-1.6	9.6	-11.9	35.9
10 はん用・生産用機械		-25.0	19.5	19.8	6.4	1.1	-2.5	5.3	-5.7
11 業務用機械		-1.4	1.6	-5.2	17.8	-11.4	-5.4	4.9	11.8
12 電気機械		-16.6	-4.2	6.7	3.8	-0.8	16.6	-6.3	33.6
13 情報通信機械		10.7	-16.3	11.2	16.5	-23.6	57.0	-23.8	-11.4
14 自動車・同付属品		-24.6	6.7	7.0	15.4	-8.1	9.6	2.8	-4.3
15 造船業		12.1	6.0	-2.8	3.1	-37.1	-61.1	105.7	53.1
16 「その他輸送用機械」		-35.0	-6.4	15.0	-6.2	27.0	-22.4	3.9	24.2
17 「その他製造業」		-12.0	6.1	17.0	-3.6	-12.0	28.5	-6.6	8.5
II 非製造業計		-6.0	-0.2	3.8	-10.8	-13.9	7.5	-1.1	3.7
18 農林漁業		6.7	-0.0	16.8	5.1	-20.6	-4.9	4.1	-4.3
19 鉱業・採石業・砂利採取業		11.8	-7.1	15.8	-23.6	-18.6	25.1	27.2	-27.1
20 建設業		-2.1	1.7	12.8	-2.1	-10.5	17.4	9.1	-12.5
21 電力業		24.4	-15.0	-17.5	-21.7	-24.1	57.7	29.6	-30.0
22 運輸業・郵便業		-25.8	14.9	-7.7	-10.4	-5.9	65.4	-37.1	2.9
23 通信業		-8.9	7.7	21.3	-19.9	-4.5	-5.9	-14.2	36.7
24 卸売業・小売業		-13.0	-6.8	30.3	-13.4	9.1	-21.2	15.1	-14.3
25 金融業・保険業		9.6	-11.6	23.5	-8.6	6.8	-32.5	17.6	6.6
26 不動産業		-16.2	24.1	37.2	-35.8	-18.0	5.6	4.0	9.9
27 情報サービス業		-4.2	-1.3	13.2	-2.6	-0.6	38.0	-19.9	-5.6
28 リース業		-0.1	-23.4	7.9	-29.9	-5.9	22.5	-1.9	-15.3
29 「その他非製造業」		-7.6	6.2	7.6	-10.2	-27.2	11.9	-12.4	21.4

(備考) 季節調整系列の対前期(月)増減率。

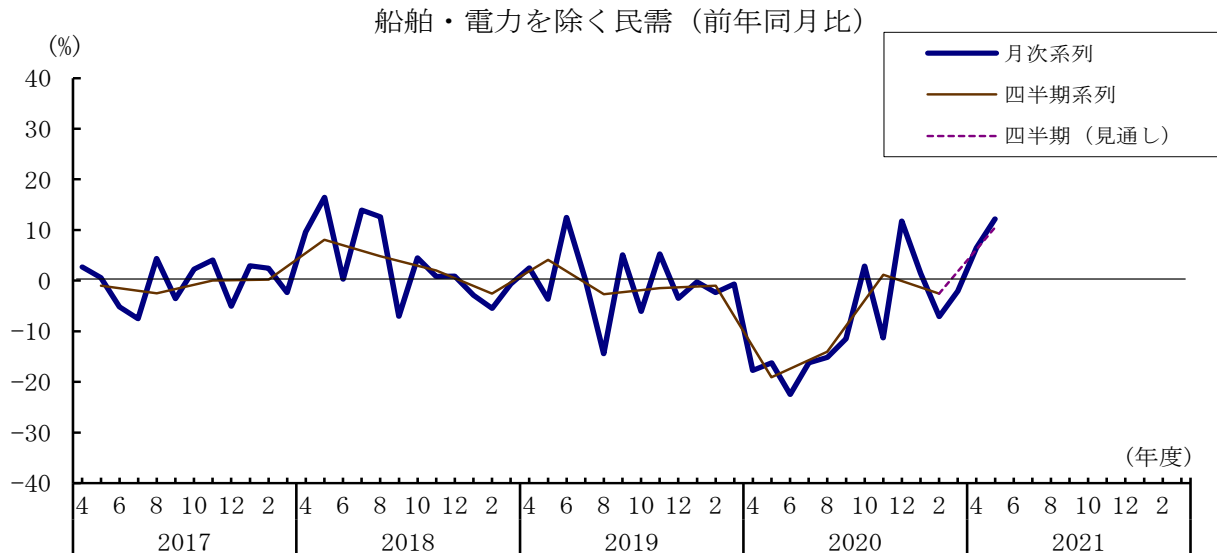
第3図 受注額、販売額、受注残高、手持月数  
(総額、季節調整値)



<参考1> 需要者別の機械受注動向（原数値）

5月の受注総額は、2兆967億円の前年同月比41.9%増となった。

第4図 機械受注額の動向



（備考）「2021年4～6月（見通し）」の計数は、「見通し調査（2021年3月末時点）」による。

需要者別にみると、民需は7,714億円で前年同月比10.3%増（船舶・電力を除くと同12.2%増）、官公需は1,799億円で同23.2%減、外需は1兆421億円で同125.7%増、また、代理店は1,033億円で同25.3%増となった。

民需のうち、製造業からの受注は、前年同月比37.9%増となった。これを業種別にみると、前年同月比で増加したのは17業種中、石油製品・石炭製品（108.5%増）、金属製品（86.6%増）等の12業種で、非鉄金属（58.3%減）、パルプ・紙・紙加工品（15.0%減）等の5業種は減少となった。

一方、非製造業からの受注は、前年同月比5.3%減となった。これを業種別にみると、前年同月比で増加したのは12業種中、不動産業（47.5%増）、建設業（18.0%増）等の6業種で、リース業（42.8%減）、運輸業・郵便業（33.6%減）等の6業種は減少となった。

<参考2> 機種別の受注額、販売額、受注残高（原数値）

1. 機種別

(1) 受注額

5月の受注額を機種別に前年同月比で見ると、工作機械（141.2%増）、船舶（85.3%増）等で増加となった。反面、鉄道車両（56.3%減）で減少となった。この結果、合計では前年同月比41.9%増となった。

また、民需からの受注額を機種別に前年同月比で見ると、工作機械（85.6%



増)、航空機 (53.2%増) 等で増加となった。反面、船舶 (74.8%減)、鉄道車両 (58.4%減) 等で減少となった。この結果、合計では前年同月比10.3%増となった。

第3表 民需の機種別機械受注の伸び

(単位：%)

	2020年 (令和2年) 4～6月	7～9月	10～12月	2021年 (令和3年) 1～3月	2021年 (令和3年) 2月	3月	4月	5月
民需総額	-15.5	-14.9	-4.5	-8.4	-11.7	-8.3	-5.8	10.3
原動機	32.0	-27.7	-23.9	-18.9	-38.0	-24.3	-46.2	1.0
重電機	-44.1	-6.1	-15.5	-30.5	-5.8	-32.0	15.1	10.8
電子・通信機械	-7.7	-11.8	5.0	-1.3	-8.3	4.3	-5.4	4.3
産業機械	-17.4	-10.6	15.9	4.1	-1.6	2.9	24.0	31.9
工作機械	-48.8	-38.0	-19.5	-7.3	-21.8	17.0	71.4	85.6
鉄道車両	-50.7	-19.5	-61.0	-29.7	-54.0	-21.1	-33.1	-58.4
道路車両	-30.1	-27.9	7.0	-10.4	-22.2	-1.2	-27.5	-0.1
航空機	-31.1	-27.4	37.7	-30.3	33.8	-32.5	-16.4	53.2
船舶	39.0	-11.1	-56.5	-42.0	29.0	-50.5	17.5	-74.8

## (2) 販売額

5月の販売額を機種別に前年同月比で見ると、航空機 (88.6%増)、工作機械 (75.1%増) 等で増加となった。反面、原動機 (9.0%減) で減少となった。この結果、合計では前年同月比30.4%増となった。

## (3) 受注残高

5月の受注残高を機種別に前年同月比で見ると、道路車両 (61.0%増)、産業機械 (18.9%増) 等で増加となった。反面、航空機 (16.0%減)、原動機 (9.0%減) 等で減少となった。この結果、合計では前年同月比2.1%増となった。

## 2. 鉄構物、軸受、電線・ケーブル

### (1) 鉄構物

5月の受注額は、218億円で前年同月比16.8%増、販売額は、168億円で同12.9%減、受注残高は、4,982億円で同15.4%増となった。

### (2) 軸受

5月の受注額は、584億円で前年同月比93.8%増、販売額は、507億円で同62.3%増、受注残高は、986億円で同12.8%増となった。

### (3) 電線・ケーブル

5月の受注額は、1,002億円で前年同月比51.7%増、販売額は、879億円で同40.4%増、受注残高は、1,780億円で同38.5%増となった。

機械受注実績調査統計表  
目次

[ グラフ ]

第1図	主要需要者別受注額	-----	9
第2図	主要業種別受注額	-----	12
第3図	主要機種別受注額	-----	17

[ 計数表 ]

	需要者別受注額（季節調整系列）	-----	18
	機種別受注残高手持月数（ 〃 ）	-----	23
	需要者別受注額（原系列）	-----	24
	機種別受注額（ 〃 ）	-----	29
	機種別販売額（ 〃 ）	-----	33
	機種別受注残高（ 〃 ）	-----	37
	機械受注統計調査結果表（2021年5月実績）	-----	41

(別紙)

	需要者（業種）分類の表章変更	-----	45
--	----------------	-------	----

(巻末)

	季節調整の検討結果	-----	46
--	-----------	-------	----